

(別添資料1)

事業所名

子ども支援室みらい 花立教室

児童発達支援 支援プログラム

作成日

7 年

10 月

1 日

法人（事業所）理念		一人ひとりの「きらり」と光る個性を生かし「ありがとう」の言葉と笑顔あふれる社会の実現に貢献します													
支援方針		①明るい未来図と一緒に描く ②自己肯定感を育てる ③「明日もみらいへ行きたい」を目指す④行動に焦点を当てる ⑤みんなでH a p p y [三方良し] ⑥仲良くなる【信頼関係】 ⑦黒子に徹してサポートする [適切な質・量の支援]													
営業時間				9 時	00 分		から	18 時	00 分		まで	送迎実施の有無		○あり なし	
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	基本的な生活習慣の定着と自己管理能力の向上 ・あいうべ体操 ⇒ 呼吸機能と口内環境を改善するために口周りの筋肉を鍛えます。 ・歌 ⇒ 日常生活でのリズム感や周りとの歌声を合わせることで協調性を養います。 ・パーティションの設置 ⇒ 集中できる環境を作ること、感情の安定やストレス管理に役立てます。 ・タイムタイマーの使用 ⇒ 集団活動での時間管理を意識し、協調性を育みます。													
	運動・感覚	身体機能の発達と感覚統合の促進 体幹トレーニング ⇒ V字バランスなどで体幹の筋力を強化し、姿勢を改善します。 ・ジャンプトレーニング ⇒ 筋力や姿勢保持、バランス感覚を鍛え、心肺機能を向上させます。 ・運動プログラム ⇒ 筋力や体力、姿勢保持、バランス感覚を鍛え、心肺機能を向上させます。 ・ボール・お手玉 ⇒ 投げたりキャッチしたりすることで、手と目の協調が養われます。 ・LEGOブロック ⇒ 組み立て・分解を通じて手先の器用さや指の筋力が向上します。													
	認知・行動	問題解決能力や自己制御力の育成、適応行動の定着 フラッシュカード ⇒ 語彙力や記憶力の向上をサポート。素早く見せることで反射的な反応力が養われます。 ・指の体操 ⇒ 見本に合わせた動作を通じて指先の感覚を鋭くし、手と目の協調を促進します。 ・数列・数量 ⇒ プリントや知育教材で数学的な思考力・計算力を強化します。 ・折り紙・製作 ⇒ 空間認識力・集中力・手先の器用さを育て、問題解決能力を養います。 ・LEGOブロック ⇒ ブロックを組み立てることで空間認識力が養われます。													
	言語コミュニケーション	言語理解力や自己表現力、実践的なコミュニケーションスキルの向上 感情表出トレーニング ⇒ カードや絵本などの視覚教材を使い、自分の感情を認識・表現する力をサポートします。 ・文字の読み・書き ⇒ 語彙力や文章理解力を高め、物語の流れや行動理由を把握できるようにサポートします。 ・トランプ・カルタ ⇒ ゲームを通じて他者との対話・協力の仕方を学びます。 ・ままごと ⇒ 新しい言葉や表現を学び、語彙力・創造力・感情表現力が向上します。													
	人間関係社会性	言語理解力や自己表現力、実践的なコミュニケーションスキルの向上 トランプ・カルタ ⇒ ゲームのルールを守ることで、順番を待つことやフェアプレイの精神を学びます。 ・テーブルゲーム (UNO・オセロ・トランプなど) ⇒ チームプレイや対戦を通じて協力と競争のバランスを学び、 規律や社会的マナー、問題解決能力を育てます。													
家族支援		・家族からの相談に対して、子どもの特性に応じた環境調整や具体的なアドバイスを行います。 ・定期的に「子育て学習会」を開催し家庭の悩みや疑問に答える場を提供します。 ・兄弟児支援や未来を見据えたアドバイスを提供します。						移行支援		・ライフステージの切り替え時には保育園や学校と連携し、スムーズな移行ができるよう支援します。 ・入学前には学校見学・体験を通じて新しい環境に慣れる準備を行います。					
地域支援・地域連携		・地域の保育園・学校などと連携を取りながら、子どもの育ちを支援します。 ・農業体験など地域資源を活かした社会体験の場を設けます。 ・外部講師を招き、地域と連携した専門的な体験活動を行います。						職員の質の向上		・児童発達支援ガイドラインを定期的に確認し職員間で共通理解を深めます。 ・実際のケースをもとに事例検討会を行い対応方法や支援の工夫を学びます。 ・外部研修に積極的に参加し、支援の質の向上を図ります。					
主な行事等		夏祭り・空手道体験・ダンス体験・木工や絵のワークショップなど多様な活動を実施します。 公共交通機関を利用した外出体験などを行います。													